

## 令和3年度事業報告

〈公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業〉

### ア 増殖促進事業

県内の内水面漁業協同組合（以下「内水面漁協」という。）が河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する、淡水魚介類（アユ、ヤマメ、ウナギ等）の種苗の放流及び水産資源の確保のための事業（産卵場造成、カワウの追払い等）に対し、事業費の一部を助成した。

決算額：7,820,000円

#### [実施状況]

(ア) 実施主体：千代川漁業協同組合

- ・内容：アユの種苗放流、アユの産卵場造成
- ・事業費（うち助成費）：2,719,740円（2,425,000円）

(イ) 実施主体：天神川漁業協同組合

- ・内容：アユ、ヤマメなどの種苗放流、産卵場造成、カワウ追払い等
- ・事業費（うち助成費）：5,255,149円（1,374,000円）

(ウ) 実施主体：日野川水系漁業協同組合

- ・内容：アユ、ヤマメなどの種苗放流、産卵場造成、カワウ追払い等
- ・事業費（うち助成費）：48,139,684円（2,613,000円）

(エ) 実施主体：湖山池漁業協同組合

- ・内容：フナの採卵・孵化放流、ウナギ稚魚などの放流、シジミ漁場清掃等
- ・事業費（うち助成費）：1,017,613円（742,000円）

(オ) 実施主体：東郷湖漁業協同組合

- ・内容：ウナギ及びフナの種苗放流、シラウオなどの産卵場造成、池の清掃等
- ・事業費（うち助成費）：893,000円（666,000円）

〈公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業〉

### イ ふれあい事業

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する、地元の住民を中心とした魚のつかみ取り、放流等を行う事業に対し、事業費の一部を助成した。

なお、当初15事業に対して助成予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、12事業が中止、又は取下げとなり、下記3実施主体が実施する事業に対してのみの助成となった。

また、市町村が実施主体の事業については、当基金から直接助成（2町：100,000円）し、民間団体等が実施主体の事業については、鳥取県からの補助金を活用（1団体：43,000円）した。

決算額：143,000円

#### [実施状況]

(ア) 実施主体：八頭町

- ・内容：地元の保育園児、町職員等によるヤマメの稚魚放流
- ・事業費（うち助成費）：100,000円（50,000円）

(イ) 実施主体：若桜町

- ・内容：地元の保育園児、町職員等によるヤマメ及びイワナの稚魚放流
- ・事業費（うち助成費）：457,000円（50,000円）

(ウ) 実施主体：小鷲河ふる里をまもる会

- ・内容：親子による淡水魚の生態観察会、ヤマメのつかみ取り
- ・事業費（うち助成費）：86,363円（43,000円）

〈公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業〉

### ウ 普及啓発事業

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、各関係者が情報共有、学ぶ機会となる現地指導会を鳥取県と連携して実施したほか、内水面に関する規則等を掲載した県内の主要河川水系等のマップを作成した。

決算額：133,870円（マップ作成代）

(ア) 現地指導会の実施

一般のコロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、毎年度開催している内水面の諸課題に関する講演会に代わり、参加者を関係者に限定して、令和2年度の講演時と同じ講師を山口県から招き、実際現地でその問題点、改修方法の検討等を関係者が集い情報共有、学ぶ機会とする現地指導会(研修会)を鳥取県水産課と連携して実施した。

- ・日 時：令和3年10月21日(木) 午前10時から午後0時10分まで
- ・場 所：鳥取市河原町 永野堰
- ・参加者：細本誠事務局長、中瀬香織書記 ほか県、漁協等関係者36名
- ・概 要：鳥取県が令和3年度から鳥取市河原町にある永野堰の魚道の改修を進めることとなり、その事業と併せて実施した。先に河川敷で講師から問題点、修繕方法等について説明を受けた後、改修する堰へ移動し、直接指導を受けた。

(イ) マップの作成(合計4,500部作成)

- ・内 容：日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップを最新の情報に修正したほか、天神川水系川マップを一新し、各関係機関に配布した。
- ・配布先：県内の市町村、内水面漁業協同組合、遊漁証取扱先